

CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	川西市市民体育館	階数	地上2F
建設地	川西市向陽台 1-11-1	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域 法22条区域	平均居住人員	300人
気候区分		年間使用時間	4,000時間/年
建物用途	集会所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年7月 竣工	評価の実施日	2014年7月8日
敷地面積	6,408 m ²	作成者	久家 一哲
建築面積	1,982 m ²	確認日	2014年7月14日
延床面積	2,872 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.9 ★★★★★

S: A: B+: B: C:

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
 建設: 46, 修繕・更新: 46, 解体: 46, 運用: 92, オンサイト: 138, オフサイト: 138
 参照値: 100%, 建築物の取組み: 73%, 上記+: 73%, 上記+: 73%

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.5

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.7

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.5

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項		その他
総合 川西市の立地環境をうまく生かした計画により、日常時は体と心の元気を生み、災害時には頼りがいを生む施設づくりを行い、健康で安全な市民生活に貢献することを目的とした計画方針を立案します。		特になし
Q1 室内環境 快適な環境で運動をしてもらえるように、自然エネルギーを有効に利用できる施設計画とします。ソックダクトを用い、気流が大きく発生しない環境を整備します。	Q2 サービス性能 想定外をあらかじめ考慮し、日常の低炭素配慮が非常時の備えにもうまく活用できる、市民に信頼感を与える体育館づくりを行います。	Q3 室外環境(敷地内) 緑を残し、緑を育む体育館とし、「体育館」と「緑」ともに成熟する施設づくりを行います。緑化バルコニーやルーバー等によって、快適な室内環境づくりが外から見ても分かる外観デザインとします。
LR1 エネルギー 年間のエネルギー使用量を計測し、見える化することで省エネルギー運転につなげる仕組みづくりを行います。	LR2 資源・マテリアル アリーナ屋根を格子梁とすることで、建物高さを抑えるだけでなく、梁の部材も小さくします。仕上材・躯体ともに材料を減らせるよう計画しています。節水器具の採用、リサイクル資材の採用を行います。	LR3 敷地外環境 現状の緑を残す、外部に保水性舗装やガラスパーキングを用いることにより、敷地外への環境負荷低減に努める計画としています。適切な駐車台数の確保と大会時などのイベント時には運営側にて車の誘導を行います。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される